

## トピックス

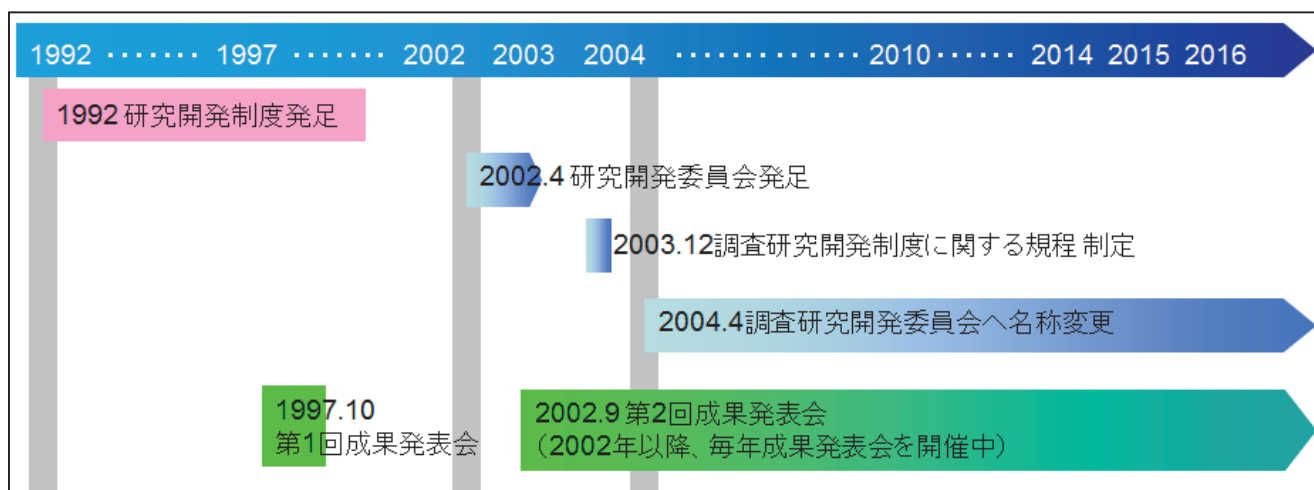
### 株式会社名村造船所

# 調査研究開発制度の紹介

弊社の調査研究開発制度は、研究活動の活性化、各部門の自主性の高揚、研究効率の向上を促進し、社全般に亘る技術の向上を図ることを目的とした制度です。本誌および本誌過去号においても調査研究開発制度の成果が多く掲載されています。ここでは、弊社における調査研究開発制度を紹介いたします。

#### ■活動経歴

弊社の調査研究開発制度は1992年の研究開発制度の発足から始まります。現在の調査研究開発制度の推進体制の母体である「研究開発委員会」が発足したのは2002年です。その後名称を「調査研究開発委員会」に変え、調査研究開発制度の円滑な運営と管理ならびに広報に関する具体的な活動を行っています。これまでの活動においては、基礎研究テーマの推進や環境テーマの推進などを行っています。



調査研究開発制度の活動経歴

#### ■調査研究開発委員会

調査研究開発委員会の現在の委員長は米田設計本部長が、副委員長は江口船舶海洋事業部長補佐が務めており、委員は総勢13名で生産業務本部、船舶海洋事業部、鉄構事業部より選出されています。また研究開発制度の管理担当部門である経營業務本部企画部が事務局を担当しています。

委員会の主な活動内容としては、下記のとおりです。

(1) テーマ選定と発掘

各申請部門から提出された申請案件を元にその選定作業を行っています。また、調査研究開発テーマとなり得るものを委員会で発掘し、その実施を支援しています。

(2) 予算案の提出と説明

委員会にて選定されたテーマの予算を事務局にて取り纏め、委員長より役員会にて説明を行っています。

(3) 進捗フォロー

各実施部門の進捗状況について期中・期末の実績を照査し、その部門への適切な助言を行っています。

(4) 成果発表会の開催

社内に対して成果の公知、技術の共有化および研究活動の活性化を図る目的で、委員会にて代表テーマを選定し、成果発表会を全社員向けに開催しています。現在の体制となった2002年以降、毎年開催しています。

■本年の調査研究開発成果発表会

本年の成果発表会は7月27日(水)に伊万里事業所にて開催しました。TV会議システムを用いて、東京事務所、大阪本社、佐賀営業所、函館どつく株式会社と佐世保重工業株式会社にも参加頂きました。定時後の開催でしたが、伊万里事業所のみで約100名の参加がありました。

委員会にて選定された4つのテーマについて船舶海洋事業部から船殻設計部、基本設計部、艀装設計部が、鉄構事業部から営業部の担当者が発表を行い、各テーマの発表後には関連部門から質疑応答が行われました。全てのテーマの発表後には米田委員長より各発表者に表彰状が授与され、最後に名村社長より全体の感想と日々の研究活動に関して激励を頂きました。

なお、本年の成果発表テーマの1つは本誌24頁「250型VLOC排熱回収システムの性能評価」に掲載しております。



会場にてコメントする名村社長



発表者へ表彰状を授与する米田委員長



発表を行う原田英光氏



伊万里事業所発表会場全景

(文責：調査研究開発制度事務局)